

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	まんてん住之江新北島第二教室		
○保護者評価実施期間	令和8年1月27日		～ 令和8年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	令和8年1月27日		～ 令和8年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・必要に応じて、または定期的に保護者と共有し、日々の療育に活かすことができていると思います。	・モニタリング時に限らず、その都度保護者の希望に沿って面談の機会を設けていることです。	・面談については、引き続き継続し、面談が難しい場合は連絡帳等を通じて連携することを継続していこうと思います。
2	・職員同士なんでも意見が言えるような風通しの良い環境を整えております。	・子ども達の小さな変化もすぐに報告・相談・共有・話し合いをし、対応できるように取り組んでいます。	・職員同士誰とでも意見交換しやすいように、日頃からしっかりとコミュニケーションをとるとともに、その場にはいない職員にもしっかり共有できるよう心がけていきます。

3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達に応じた個別療育を実施しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」を取り入れ、利用児に合わせた個別療育に取り組んでいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な発達支援を色々な方向から行えるように、職員同士での話し合いや情報交換を更にしっかりと行っていこうと思います。</li> </ul>
---	--	--	---

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内での子どもの様子は共有しているが、家庭での様子や取り組みについて十分把握しきれていないことがあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所している際に、実際の子どもの姿を見ながら保護者と話すことはできても、そこから家庭での様子まで把握しきれていないことがあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どものことを理解し、必要な関わりを考えられることを目指すために、子どもの様子を保護者としっかり共有していきたいです。</li> </ul>
2			
3			